

科目名称(Course Title)				担当教員(Instructor)	
社会保障論				星 雅文 / 三好 ゆう	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
後学期	2単位	1年次	講義	無	
授業の概要(Course Description)					
<p>わが国では少子・高齢化や経済の低成長に伴い、国民生活を守るための社会保障の今後が不安視されている。先送りされている消費税10%の用途は、概ね社会保障費とされているが、現制度における個別分野の課題を解決しない限り、社会に歪みを生む可能性がある。</p> <p>本講ではまず、社会保障の全体像をとらえ、主にわが国の社会保障制度全般について、制度を運営する体制やそれを担う専門職について理解する。さらにドキュメンタリー映画の視聴を通じて、諸外国の社会保障制度の現状とわが国の社会保障制度との違いについて学ぶ。</p> <p>本講の後半では、現在のわが国の財政状況から、社会保障を支える財源について学び、わが国の社会保障制度を如何にして維持するのかを考える。</p> <p>本講では、様々な視点から社会保障制度を眺め、今後のわが国に必要なものは何かについて、改めて考える時間にしたい。</p>					
授業の到達目標(Course Objectives)					
<ol style="list-style-type: none"> 1) 国家における「社会保障」の存在意義を説明できる。 2) わが国の社会保障制度について、その仕組みや具体的内容を説明できる。 3) わが国と諸外国の社会保障制度の違いを比較し、問題点を指摘できる。 4) わが国の今後に必要な社会保障について、意見を述べることができる。 					
授業計画(Course Schedule)					
第1回	ガイダンス：社会保障を学ぶ意義について				星
第2回	社会保障の概念： 社会保障の給付と仕組み				星
第3回	医療保険制度①： 医療保険の必要性と制度の概要				星
第4回	医療保険制度②： 医療保険の沿革と保険給付				星
第5回	医療保険制度③： 高齢者の医療制度と医療提供体制の実態				星
第6回	生活保護と社会福祉制度①： 生活保護の目的と仕組み				星
第7回	生活保護と社会福祉制度②： 福祉サービスの給付と手当				星
第8回	他国の社会保障制度： ドキュメンタリーから学ぶ米国等諸外国の制度				星
第9回	介護保険制度： 介護保険の仕組みと介護サービスの提供体制				星
第10回	社会保障の機能： 所得再分配とマクロ経済との関わり				三好
第11回	社会保障の財政①： 国の財政状況と社会保障関係費				三好
第12回	社会保障の財政②： 社会保障財政が果たす役割とは				三好
第13回	年金保険制度： 年金によって所得を保障する仕組みと各種制度				星
第14回	労働に関する社会保障制度： 雇用保険と労働者災害補償保険				星
第15回	現在の社会保障の課題と今後の展望				星
授業時間外学習(Supplementary Activities)					
<p>社会人として有益な一般教養を身につけるつもりで、常に興味を以て講義に臨むこと。予習については、各回講義の終わりに教科書の範囲を指定するので、次回講義までに必ず一読しておくこと。復習としては、テキストの指定範囲を講義資料・ノートと合わせて読み、理解を深めるよう努めること。</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
・ 期末テスト (100%)	<p>秀 : わが国、および諸外国の社会保障制度の現状について、<u>わかりやすく説明</u>ができ、かつ、<u>問題点を的確に指摘</u>できている。</p> <p>優 : わが国、および諸外国の社会保障制度の現状について、関連するキーワードを挙げ、<u>わかりやすく説明</u>することができている。</p> <p>良 : わが国、および諸外国の社会保障制度の現状について、関連するキーワードを挙げ、<u>それらについて述べる</u>ことができている。</p> <p>可 : わが国、および諸外国の社会保障制度の現状について、関連するキーワードの理解において、最低限の水準を満たしている。</p>
テキスト (Textbook)	<p>【書名】 はじめての社会保障 (第13版) 【著者】 椋野美智子 田中耕太郎</p> <p>【出版社】 株式会社有斐閣 【出版年】 2016年</p>
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 『社会保障入門2018』 : 社会保障入門編集委員会 (中央法規) ・ 『日本の社会保障』 : 広井良典 (岩波新書)
備考 (Other Information)	<p>履修に際して学科は問わない。本科目は各回の講義内容が次の講義につながるが多いため、欠席により講義に付いていけなくなる恐れがある。やむなく欠席した場合は、出席者から資料やノートを借りて学習するなど、積極的に取り組んでいただきたい。</p>
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	<p>講義、学内会議、出張などにより研究室に不在であることも多いため、火急の際には下記の連絡手段を用いてアポを取ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Email : hoshi-masatake@fukuchiyama.ac.jp ・ 携帯電話 : 090-1616-8855 (Softbank, ショートメッセージ可)